茨木市立福井小学校　　令和元年（2019年）12月13日

福井だより

ふくいからみらいへ

校長　吉田　明弘

福井小学校の学力向上の取り組み

　全国学力学習状況調査の結果が９月に公表されました。今年度の結果や平成20年から始まった茨木市の学力・体力向上３か年計画（「プラン22」H20～22、「ステップアッププラン」H23～25、「ジャンプアッププラン」H26～28、「グローイングアッププラン」H29～）に基づいた本校の学力向上の取り組みの一部を紹介します。

　本校のHPにも掲載しています。



◎全国学力学習状況調査の結果

　◇国語

【領域別】

話すこと　課題が残る結果であった

書くこと　概ね良好な結果であった

読むこと　概ね良好な結果であった

言語事項　課題が残る結果であった

　　※言語事項…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項



【問題形式別】

選択式　やや課題が残る結果であった

短答式　やや課題が残る結果であった

記述式　課題が残る結果であった

　◇算数

【領域別】

数と計算　概ね良好な結果であった

量と測定　概ね良好な結果であった

図形　やや課題が残る結果であった

数量関係　概ね良好な結果であった

【問題形式別】

選択式　概ね良好な結果であった

短答式　概ね良好な結果であった

記述式　概ね良好な結果であった



福井小学校の学力向上のための取り組み

◎朝の時間の活用

１時間目が始まる前の１５分間を利用して、以下の取り組みをしています。（木・金…3～6年はモジュール学習）



・読書タイム…穏やかな気持ちで１週間の始まりを迎え、「読む力」を育むために月曜日に実施しています。毎月１回、読み聞かせボランティア『きしゃぽっぽ』による読み聞かせを各クラスでしていただいています。

・計算タイム…全学年毎週水曜日に基本的な計算練習に取り組み、集中力を高めています。

・ことばタイム（1・2年）…国語の基礎学力向上のため、漢字やことばの学習をしています。

◎休み時間、放課後の活用

　担任や少人数指導担当教員、学習サポーターが、児童の状況に合わせて、個別に指導しています。

　図書館支援員が月に１回程度SCといっしょに読み聞かせをしています。

◎漢字検定＆算数診断テスト

　漢字検定は、毎学期（２学期12/4）、事前学習を行った後にテスト（3年生以上50問、2年生25問、1年生20問）を行っています。算数診断テストは、当該学年の算数の４領域（「A.数と計算」「B.図形」「C.量と測定」「D.数量関係」）が定着しているかどうかチェックしています。今年度は２月に実施する予定です。

◎北中学校としての取り組み

・生活リズム名人…基礎学力の向上には、基本的な生活習慣の確立が基礎になると考えて北中学校の定期試験期間に合わせて年間５回実施しています。

◎教員の授業力の向上

　学力の向上を目指すに当たっては、教員の授業力向上が重要な役割を果たします。今回の全国学力学習状況調査結果についても、その内容を丁寧に分析し、思考力を高めるための授業作りに取り組んでいます。



・法定研修以外の授業研究…自分の授業を公開しあい、その授業について討議することで、授業力の向上を図っています。（授業公開週間　年２回）

・自主研修会…教員が、自主的に自らの研究教科の指導法を伝える研修会を開催しています。（毎月１回程度）

・北中学校区や市内、市外の研究会への参加

　茨木市の学力向上計画では、保幼小中間の連携を重視しています。中学校区として保育所・幼稚園から小学校への進学、小学校から中学校への進学がスムーズに進むように様々な取り組み（体験入学、部活見学会、中学校教員による外国語の授業など）をしており、北中学校区として、様々な研修会も行っています。また、各教職員は法定研修だけでなく、それぞれが研究教科（領域）を持っており、市の教科研究会に参加し研鑽しています。

◎事務の共同実施

　中学校区の事務職員が協働・連携することで、学校事務の専門性の向上・効率化を図っています。その結果として教員の事務負担軽減を行い、子どもと向き合える時間を増やすことで、教育活動の充実につなげています。

（あのねちょうから）　三年

ボランティアの方がおひっこしすることになったので、お母さんとお礼にタオルハンカチとお手紙をおわたしました。とてもよろこんでくれました。うれしかったです。

なのに、わたしの家まで来てくださって、わざわざお返事の手紙まで書いてくださって、とてもやさしい方だなと思いました。

三年間、あつい日も寒い日も、大雨の時も、見守ってくださったボランティアの方に感しゃしています。

茨木支援学校との交流の感想（５年）

茨木支援学校の人たちに言いたいことを伝えるのが難しかったです。６年生に黒ひげ危機一髪というゲームをやるけど、２人休みで６年生が２人しかいなかったので少し残念だったけど、黒ひげ危機一髪をできてうれしかったです。また、支援学校の人と遊びたいです。

いばらき支えん学校で自分たちが作ったゲームでとても楽しく遊んでもらえてよかった。また、あう機会があったら交流したい。福井小と支えん学校のちがいはだんさがあまりなく、車いすなどが通りやすくなっていて、支えん学校の人がすごしやすいかん境だと思った。

がんばってじゅんびをしたので喜んでくれてよかったです。支えん学校の教室でも福井小の教室とちがいがあったのがすごかったです。最初は不安なところもあったけど、ちゃんとできてよかったです。初めて支えん学校に行っていろいろなことを知れて楽しかったです。

わたしは４年生と魚つりをして、とても楽しかったです。魚つりのつりざおのひもが短すぎて届かなかったりしてあせったけど、４年生のクラスに長いつりざおがあったので、魚つりをすることができて安心しました。わたしはＡさんのサポートをしていて、びっくりしたことがありました。わたしがサポートをしなくても、自分で魚をつれていました。しかも、１度に２匹一気につれていて、とてもすごいと思いました。また、支援学校のみんなと遊びたいです。

かわいいわたしの弟　二年

十一月五日にわたしの弟が生まれました。

まいにち朝からないておっぱいをのんでねておむつをかえておふろに入ってまたねてのくりかえしです。

わたしは、おむつがえやだっこやおふろのじゅんびやおふろに入るのを手つだいます。

ときどきわたしがわらうとわらってくれたり、へんなかおをしたり、どっかをじーと見つめたりするのがかわいいです。

でもときどき、ミルクでもない、おむつでもないときがあって、ずっとないときがあってずっとないています。そのときは、ママにおまかせするときがあります。

それでも、だっこしたくなります。やっぱりかわいくてたまりません。

名人のしょうかい　二年

ぼくは、やさい作り名人のおばあちゃんをしょうかいします。

おばあちゃんは、家ぞくのためいつもがんばっておいしいやさいを作っています。おばあちゃんは、たくさんのやさいを作っています。にんじん、トマト、だいこん、ほうれんそう、とうもろこし、いろいろなやさいを作っています。昼からはたけへ行っています。おばあちゃんは、九十さいだから朝から行くのはしんどいからです。とてもきどき朝に行きます。

ぼくはおばあちゃんがにがてなことはないと思っていたけど、あります。にがてなことは、二つあります。一つめは、トマトを上手にそだてられないことです。二つめは、たがやすことです。

ぼくは、おばあちゃんのそだてたやさいはいつもおいしいと思います。おばあちゃんがはたけのことで、こまっていたらてつだってあげたいです。

名人のしょうかい　二年

わたしは、かんごし名人のお母さんをしょうかいします。わたしのお母さんは、いつもけがをしている人やくるしんでいる人をたすけるために二十四時間こうたいではたらいています。

いつも、おじいちゃんやおばあちゃんのけんこうのお手つだいもしています。

ほかにも、かんじゃさんがしんどい時は、元気になるためにおいしゃさんのお手伝いをしています。

「楽しい時は、かんじゃさんがニコニコしている時。」

と言っていました。いつもやることは、かんじゃさんにたいして何かをほめたり、おしえたりすることです。

そんなお母さんはすてきだと思います。

わたしもかんごしになりたいです。